

伝統継承



鐘、太鼓の音とともに獅子がしらが激しく舞い踊る。
 礼受神樂は、明治19年、青森県下北市から伝わり、
 ニシレ漁の大漁を祈り、海の男たちの安全を祈った。
 明治、大正、昭和と受け継がれてきた礼受神樂。
 この伝統芸能は、この子供たちが舞いを止めたとき、
 この世から消えうせてしまうのだ。

平成のいま、地域の伝統芸能から留萌市の伝統芸能
 として、後継者の育成や神樂の保存・伝承に対する
 取り組みが始まった。